

理学部
アドミッション・ポリシー

(1) 教育理念

自然科学は今日の科学技術を支える礎であり、社会の発展のための基盤をなすものであると同時に、人類全体にとっての文化的知的財産にもなっています。自然科学は現代社会には不可欠の存在で、これからもその重要性はいっそう増していくことでしょう。

自然科学の進歩の多くは、科学技術の成果がもたらす利益の追求とは独立に、純粋に自然科学の美しさや深遠さに惹かれた人達の努力と発見によって達成されてきました。しかも偉大な発見であればあるほど、極めて素朴な疑問や好奇心に端を発していることがしばしばです。もちろん、そのような疑問や好奇心を研究成果として結実させるためには、しっかりとした学問的素養を身につけ、それらに裏打ちされた科学的思考力と方法論を修得しなければなりません。このような資質を身に付けた人材こそが、将来どのような職業に就こうとも活躍できるのです。

大阪大学は、研究拠点大学として日本と世界を先導する研究を推進するとともに、その研究を基盤とする最良の教育を提供します。特に理学部では、上に述べたような自然科学の特徴を踏まえた教育を行い、卒業後に、大学・公的機関・企業等での研究職・技術開発職・教育職などの広い分野で活躍できる人材を育成しています。そのために次のような人材を育てることを特に重視しています。

- 自然に対する鋭い直観と的確な判断力を兼ね備えた人
- 高度で幅広い自然科学の専門知識に裏付けられた、広い視野と柔軟な発想力を持ち合わせた人
- 科学の素養を背景にして社会に幅広く貢献できる人

(2) 教育プログラム

このような人材を育成するために、理学部では、自然科学全般の基礎を修得する「理学部コア科目」から始まり、豊富な演習や実験を交えた「専門科目」、あるいは自主的研究活動を体験できる「理数オナープログラム」といった多様な教育プログラムのもと、基礎的教養、専門的知識、科学的思考力をバランスよく習得できるカリキュラムが組まれています。多くの学生は大学院に進学しますが、成績の優れた学生は理学部在学中にいくつかの大学院の科目を履修することも可能です。

(3) 求める学生像

理学部では、多様な教育的背景をもった入学希望者の中から、

- 数学および理科をバランスよく勉強し、基礎学力をしっかりと身に付けた人
- 与えられた知識を吸収することだけに満足せず、自分自身の頭脳で考えて真理を探究・発信することを熱望する人
- 実験などを通して主体的に科学を楽しみ、自主研究を行った人

を受け入れます。特に、一見自明に思える事柄に対しても、「なぜ？」という疑問を抱いてその根源的理由を探ろうとする好奇心旺盛な人達を歓迎します。

(4) 入試選抜の基本方針

上記のような人材を選抜するため、理学部では多元的な評価尺度での選抜制度を設けています。一般入試前期日程は「一般枠」と「挑戦枠」の2つの枠で実施しています。「一般枠」は従来型の試験ですが、「挑戦枠」では、従来型の試験に加えて、思考力や考察力を深く問うような試験も行います。また、実験などを通して自ら考えようとする意欲に溢れて科学を楽しみ、高等学校等で優れた自主的な研究活動をした人達を受け入れる入学者選抜方法として、「研究奨励 A0 入試」と「国際科学オリンピック A0 入試」とを実施しています。